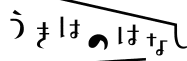




創業・移住支援ポータルサイト「うきはのはなし」特別編 大学生による市内事業所インタビュー private nailsalon Kalmia



private nailsalon Kalmia
代表
東 慶子さん



うきは市では、創業・移住支援ポータルサイト「うきはのはなし」の中で市内創業者・事業所の紹介をしています。

昨年度に引き続き、広報うきはでも久留米大学生による取材記事を掲載します。うきは市の様々な産業の魅力をお届けします。

■ トップインタビュー ■

Q. 御社の歴史と事業内容を教えてください

もともとネイルサロンに勤務していましたが、2017年に福岡市博多区のマンションの一室で自宅ネイルサロンを立ち上げました。そして、2019年にうきは市へ移住してきたタイミングで本格的に自宅ネイルサロンをオープンしました。

事業内容としては、託児付きのネイルサロンですが、ネイルだけでなく、手の地爪育成（例えば、深爪などのお悩みをケアのみで解消していくこと）や巻き爪などの足のケアも行っています。最近、うきは市周辺の病院と提携して、足爪のトラブルケアが必要な患者さんのサポートなどもしています。

Q. 御社が誇れること（強み）やこだわりを教えてください

ネイルサロンは星の数ほどありますが、その中でケアに特化したネイルサロンはまだまだ少ないです。ネイルサロンは爪が綺麗な方が来るところと思われがちですが、手足の爪にお悩みがある方へのアドバイスやネイルサロンに来店できない高齢者の方などへの訪問施術も大切な活動として続けています。そういう方のお役にも立てるところが強みだと思っています。また、託児付ですので、お子様がいらっしゃる方も気軽に安心して来店していただけますし、施術中もリラックス

してお過ごしいただけるところも強みだと思っています。

Q. 会社として挑戦したいこと、伸ばしていきたいところはどこですか

フットケアです。2025年問題という現役世代2人で高齢者1人を支えていかなければならない時代が到来しますが、施設などを増やすことにもある程度限界があると思っています。そこで、「自分の足で生涯歩ける足づくり」を1人でも多くの方にお伝えしていきたいと考えており、今後は医療や福祉の方にも力を入れていきたいと思っています。

Q. 学生に伝えたいことはありますか

まず自分の足の指に関心を持ってもらいたいです。関心を持つことで、自然と足のケアなどに意識が向き、健康（維持）につながっていきます。そうすることで、将来、子供を持ったときに、子供の足を育てる「足育」にもつながっていくと思います。今、偏平足など足のトラブルに悩む子供達が増えてきています。子供達が「足育」を学ぶことで、今後は足のトラブルに悩む方が今より少ない社会につながっていくと思います。

Q. うきは市の皆さんに伝えたいことはありますか

今現在、小中学校や高等学校などでは上靴を使用していますが、足を守る機能はありません。歪む靴だと、足も歪んでしまいます。また、靴はオシャレの1つかもしれませんが、靴に足を合わせるのではなく、足に靴を合わせる事が大切です。靴は、足を守る道具だということをまず意識してほしいです。皆さんと一緒に子供達の足や靴、上靴などを見直す活動ができたらと思っています。

★取材を終えて★

ネイルサロンと聞いてネイルは女性がするものだと思っていましたが、地爪育成や足育など多くの方に必要な事だと実感したので、私も多くの人に今回の取材した内容を話していこうと思いました。（澤津橋）

ネイルサロンを訪れたのは今回が初めてですが、ここは「ママが安心して来店できるネイルサロン」ということで、託児スペースなどもあり驚きました。また、足育やネイルなどについて熱い想いをお聴きし、私も爪などのケアをして綺麗な指になりたいなと思いました。（鈴木）

ネイルサロンは「飾るネイル」と思っていたのですが、取材を通して手や足の爪のケアは命を救えることや健康に関わるという大切なことを学びました。これから先の人生で自分の体をもっと大切にしていこうと思える良い機会になりました。

（濱中）



久留米大学3年
澤津橋 壮将



久留米大学3年
鈴木 健介



久留米大学3年
濱中 敢太

会社名 private nailsalon Kalmia
所在地 うきは市吉井町新治
電話 080-5667-2669
FAX
HP <https://lin.ee/5QZjhna>

この記事に関する問い合わせ先
うきはブランド推進課商工振興係
TEL:0943-76-9095
取材協力：筑後信用金庫

創業・移住支援ポータルサイト

うきはのはなし

検索